

※第 号

_____ 保育園 _____ 保育園

保 育 園 入 園 申 込 書

年 月 日

保護者住所

番地

(行政区名

班)

氏 名

Ⓜ

電話番号

()

番

さくら市長 様

保育園への入園につき次のとおり申し込みます。なお、保育料算定のために私の世帯の市民税等課税資料を閲覧することに同意します。

入 園 児 童	氏 名	生年月日・年 齢	性 別	備 考
	(ふりがな)	年 月 日 歳	男・女	
入 園 を 希 望 す る 保 育 園 名	第1希望	保育園 (希望理由)		
	第2希望	保育園 (希望理由)		
	第3希望	保育園 (希望理由)		
保育の実施を希望する期間	令和 () 年 月 日 から令和 () 年 月 日 まで			
保育の実施を必要とする理由	両親：(父) (母) 具体的な状況.....			

入園児童の家庭の状況

区分	氏 名	入園児童との続柄	生 年 月 日	性別	職 業	課 税 の 有 無		備 考
						前年度分市区町村民税	前年分所得税	
入園児童の世帯員			・ ・	男・女		有・無	有・無	
			・ ・	男・女		有・無	有・無	
			・ ・	男・女		有・無	有・無	
			・ ・	男・女		有・無	有・無	
			・ ・	男・女		有・無	有・無	
			・ ・	男・女		有・無	有・無	
			・ ・	男・女		有・無	有・無	
生活保護の状況		適用なし 適用あり(年 月 日保護開始)						

※さくら市記載欄	入園申込みの承諾	保育の実施の要否	保育の実施期間	保育の実施基準の番号
		要・否(理由)	自 年 月 日 至 年 月 日	両親等：()()
		年 月 日承諾	入 園 保 育 園	保 育 園
		備 考		

○裏面の注意をよく読んでから記入してください。※印の欄には記入する必要はありません。

○字は楷書ではっきりと書いてください。

記入上の注意

この入園申込書は、保護者が次の点に注意し記入の上**さくら市役所に提出してください**。
なお、その家庭から2人以上の児童が同時に入園を申し込む場合は、それぞれの児童ごとに
申込用紙を用いてください。

- 1 「入園児童」の欄は「氏名」にふりがなを付すとともに、「年齢」は4月1日現在の満年齢
で記入し、誕生日を記入してください。「性別」は該当するものを○で囲んでください。
- 2 「入園を希望する保育園名」は希望する順位に従い保育園名を記入してください。そし
て、その保育園を希望する理由(※例えば、既に兄弟が入園しているため・延長保育を実施
しているため・自宅からの距離が近い等)を記入してください。
- 3 「保育の実施を希望する期間」には、小学校就学始期に達するまでの期間で、**家庭保育
ができないと見込まれる期間を記入してください**。
- 4 保育園に入園できる基準は下表(※表1)に掲げる場合です。**両親以外の同居している親
族等で保育ができると判断した場合、基準点を調整し、審査を行います**。「保育の実施を必
要とする理由」の欄は、()内に両親(児童が両親と別居している場合には、現在児童の面
倒を実際にみている者)が下表(※表1)の(1)から(6)までに掲げるいずれの場合に該当す
るかを判断して、その該当する番号をすべて記入してください。そして、児童の保育がで
きない具体的な状況を同欄に記入してください。

**なお、児童の保育ができない具体的な状況を確認できる書類があれば併せて添付してく
ださい。**

- 5 「入園児童の世帯員」の欄は、入園児童本人以外で、**入園児童の両親(両親については同
居・別居の別を備考欄に記入してください)及び同居している親族等の全員について記入
してください**。「性別」「課税の有無」の欄は、該当するものを○で囲んでください。**また、
世帯員の中で入園児童の他に保育園、幼稚園、認定こども園、特別支援学校幼稚部、知的
障害児通園施設、難聴幼児通園施設、肢体不自由児施設通園部、情緒障害児短期治療施設
通所部に入所又は児童デイサービスを利用している就学前の児童がいる場合は、当該施設
名、所在地及び電話番号を「備考」に記入してください**。

なお、保育料の決定のために必要な書類を併せて添付してください。

- 6 保育園への入園については、

※保育園へ入園できる基準に該当しないために入園が認められない場合

※希望者が多数いるため、希望する保育園へ入園ができない場合

**※保育園へ入園できる基準の該当事由により、保育の実施期間の希望に添えない場合が
ありますから、あらかじめ御了承ください。**

(※表1) 保育園へ入園できる基準

保育園へ入園できる児童は、**両親が次のいずれかの事情にある場合です**。

- (1) 「**家庭外労働**」児童の親が家庭の外で仕事をするのが普通なので、その児童の保
育ができない場合
- (2) 「**家庭内労働**」児童の親が家庭で児童と離れて日常の家事以外の仕事をするのが
普通なので、その児童の保育ができない場合
- (3) 「**親のいない家庭**」死亡、行方不明、拘禁等の理由により親がいない家庭の場合
- (4) 「**母親の出産等**」母親が出産の前後であるため、病気、負傷、心身に障害があるた
めに、その児童の保育ができない場合
- (5) 「**病人の看護等**」その児童の家庭に、長期にわたる病人や、心身に障害のある人が
いるため、親がいつもその看護にあたっていてその児童の保育ができない場合
- (6) 「**家庭の災害**」家庭に、火災、風水害、地震などの不幸があり、その復旧のために
児童の保育ができない場合